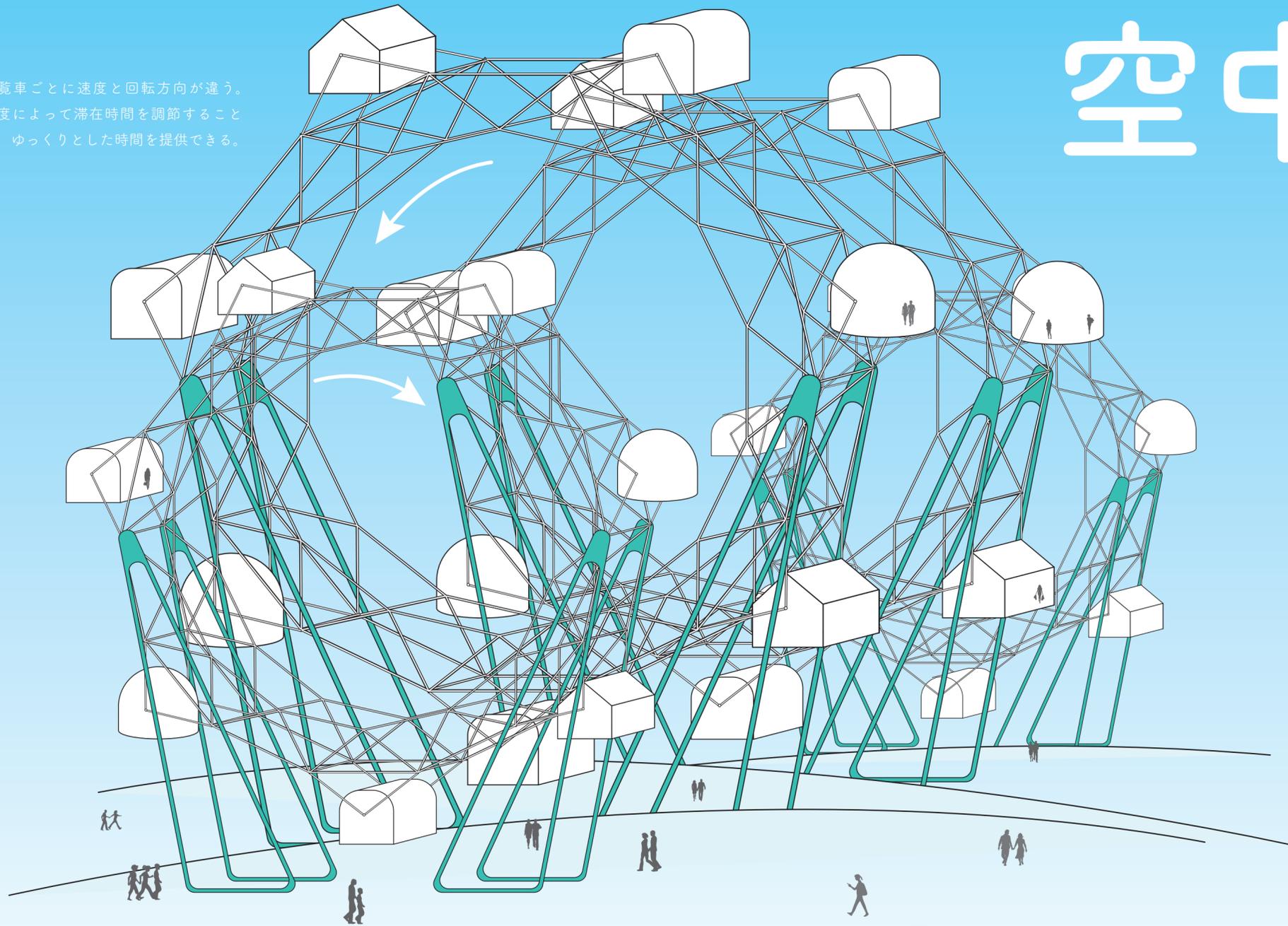


# 空中マルシェ

観覧車ごとに速度と回転方向が違う。  
速度によって滞在時間を調節することで、ゆっくりとした時間を提供できる。

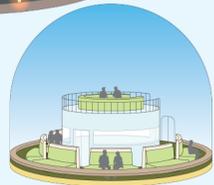


観覧車のゴンドラを店舗として活用し、プロジェクションマッピングを搭載した新感覚の施設。ゴンドラ部分を様々な店に置き換え、回りながら変わる景色と共に買い物や食事を楽しめる。また、どの店舗に乘れるかはタイミング次第なため、普段訪れない店舗に出会える可能性がある。店舗内では、昼は窓から見える景色を楽しみながら過ごし、夜は景色の他にもプロジェクションマッピングと合わせて楽しみながら過ごすことができる。従来の観覧車では悪天候だと景色を楽しむ事が困難だったが、プロジェクションマッピングを用いることで悪天候でも、満足感のある体験ができる。ゴンドラはそれぞれが個性的な外見で、乗ることがなくても街中を歩く人々が景観の一つとして眺めて楽しむ事もでき、全方位から楽しめるデジタルアートとリアルな景観が融合した施設は、訪れる人々に特別なひとときをもたらす。



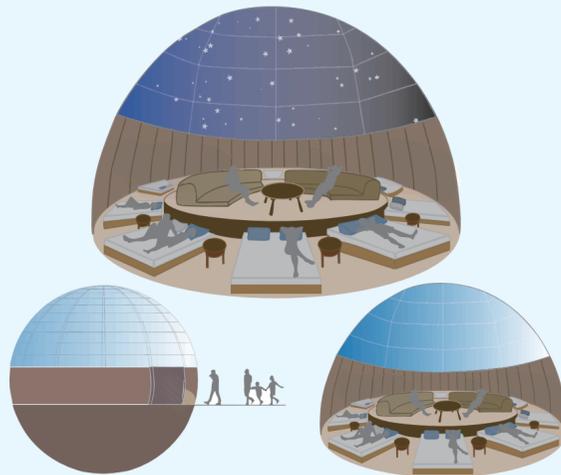
## レストラン

カップルや夫婦などの二人組がゆったりと座れる大ききのソファからは、空からの街並みが一望できる。夜になり暗くなれば、窓に魚などの生き物や、ふんわりとした明かりに店内が照らされ、昼間とは違った体験が味わえる。



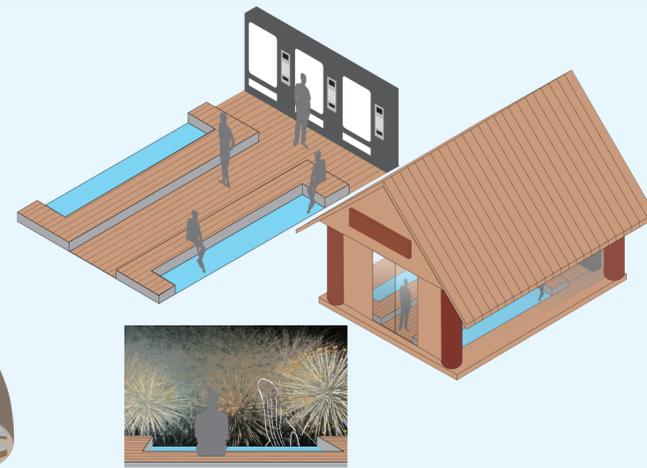
## バー

お一人様から気軽に訪れることのできる、こじんまりとした店内は、巨大スクリーンのような窓から街並みを一望できる。夜になり暗くなれば、窓だけでなく机にも花を模した明かりに店内が照らされ、昼間とは違った雰囲気へと早変わりする。



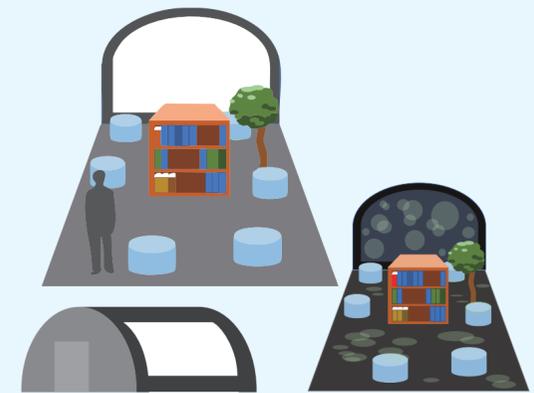
## プラネタリウム

ソファやベッドに寝転がりながら空を眺めることができる休憩スペース。夜になり暗くなると、天井の窓に無数の星と共にプロジェクションマッピングが投影され、プラネタリウムへと早変わりする。



## 足湯

足湯に浸かりながら景色を一望できるゴンドラ。地域の方々や観光客の交流の場としても利用できる。夜になり暗くなると、花火のようなプロジェクションマッピングや足元から飛び上がる鯨や魚たちと夜景を眺めることができる。



## 図書館

丸い椅子に座りながら、一人で黙読や複数人で本について語り合うこともできる、読書ができるゴンドラ。夜になれば、読書に最適な明るさになり、夜景に想いを馳せながら本を読むことができる。